

# 台風12号に伴う出水と布目ダム防災操作について

～布目ダム管理開始以降、最高の総雨量を記録～

## (概要)

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 布目ダムでは、台風12号に伴う総雨量が276mm（管理開始以降の最高の総雨量）に達しました。

この降雨による出水に対して防災操作を実施し、ダム下流の興ヶ原<sup>おくがはら</sup>水位観測所において、河川水位を0.46m低減したと推定され、下流河川の洪水被害軽減に効果がありました。

※『防災操作』とは、大雨などによりダムに流れ込む洪水の一部を貯水池に溜め込み、洪水を小さくして、ダム下流の河川に流すことを言います。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値が変わることがあります。

平成23年9月6日



独立行政法人 水資源機構

## 発表記者クラブ

県政・経済記者クラブ

奈良市市政クラブ

## 問い合わせ先

国土交通省 淀川ダム統管理事務所 副所長 <sup>はしもと かずお</sup> 橋本 和夫

住 所：大阪府枚方市山田池北町10番1号

電 話：072(856)3131 (代表)

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長 <sup>ひろせ しょういち</sup> 廣瀬 正一

住 所：三重県名張市下比奈知2811-2

電 話：0595(64)8961 (代表)

# 台風12号に伴う 出水と布目ダム防災操作の効果について ～<sup>ぬのめ</sup>布目ダム管理開始以降、最高の総雨量を記録～

8月31日、午後8時頃より降り始めた台風12号に伴う降雨は、淀川水系布目川の布目ダム（奈良県奈良市）上流域では、9月4日6時から7時の1時間の雨量が最大15mmを記録し、総雨量は276mm（管理開始以降の最高を記録）に達しました。

この降雨による出水に対して、流入量が増加し、4日7時14分には洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

この防災操作では下流河川の状況、木津川本川の状況、ダムの貯水容量等を考慮し、淀川ダム統管理事務所の指示により、最大のダム流下量を毎秒80立方メートル以下にした操作としました。

4日8時14分には流入量が最大（毎秒約116立方メートル）となりました。同時刻のダム流下量は毎秒約80立方メートルであり、布目ダムで毎秒約36立方メートルの貯留を行いました。

ダム下流の興ヶ原<sup>おくがはら</sup>水位観測所では、布目ダムの防災操作によりダムが無い場合に比べて河川水位を0.46m低減したと推定され、下流の洪水被害軽減に貢献できたものと考えられます。

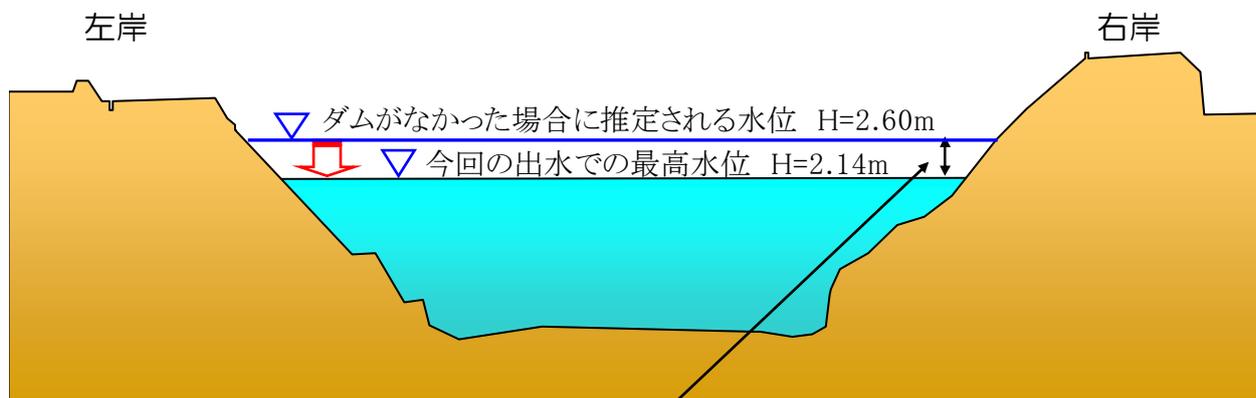
布目ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。



# 布目ダム下流河川の状況

平成23年9月4日(台風12号)

## 布目ダムの防災操作状況(興ヶ原地点)



ダムによる水位低減効果は、約0.46mと推定されます。

写真 ダム下流 3.7km地点

※平成23年9月4日 7時10分時点撮影



写真 ダム下流 3.9km地点

※平成23年9月4日 7時10分時点撮影



### 布目ダム操作概況図

水系名=淀川 河川名=布目川 ダム名=布目ダム

